



2019年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社マックハウス
 代表者名 代表取締役社長 北原 久巳
 (コード番号 7603 東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画室長 有賀 憲
 (TEL. 03-3316-1911)

当社の親会社 株式会社チヨダ
 代表者名 代表取締役社長 澤木祥二
 (コード番号 8185 東証第1部)

たな卸資産評価損の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年1月11日に公表いたしました2019年2月期(2018年3月1日～2019年2月28日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年2月期通期業績予想の修正(2018年3月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	28,000	△740	△690	△2,300	△149円97銭
今回発表予想(B)	28,009	△1,238	△1,147	△2,831	△184円60銭
増減額(B-A)	9	△498	△457	△531	—
増減率(%)	0.0	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2018年2月期通期)	30,852	216	264	△224	△14円61銭

(金額の単位：百万円)

修正の理由

売上高は概ね予想通り推移しましたが、2020年2月期より新たな経営体制の下、商品の取扱カテゴリを見直して品目数を絞り込む等、MD(マーチャндаイジング)を変更することを決定したことに伴い、今後取り扱いを縮小していく商品群について、追加的に計上することとした評価損(おおよそ5億円)を含め、第4四半期において726百万円の商品評価損を売上原価に計上する見込みです。また、さらに収益性の低下した店舗について減損処理を行います。これらの結果、営業損失、経常損失、当期純損失ともに前回発表予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上